

MINORU NEWS

東村山市議会議員 渡辺みのる活動報告



東村山市議会初 市長提出議案を否決 ～萩山小学校複合施設整備一括契約～

東村山市議会で市長が提出した萩山小学校と周辺の公共施設を一体的に整備する、複合施設の契約議案が否決されました。設計、解体・施工、維持・管理を一括で契約する大きな事業ですが、契約のずさんさ、不透明さについて他会派からも指摘があり、賛成は公明党・自民党のみでした。

【契約のあり方、事業者の選定が不透明】

特定企業との利害関係も判断できる情報も示されず、ブラックボックス。これでは契約の妥当性を判断できません。具体的な施設の使い方が決まるのは、議案可決後に設置される“運営検討会”で決めるとの説明でした。

【最終的にいくらになるの?】

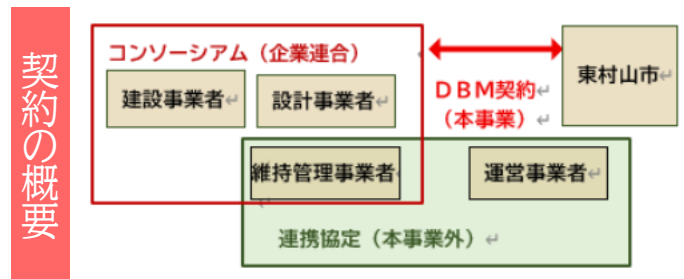
計画を立案した当初は56億円でしたが、物価高騰などを踏まえ総事業費80億円へと増額。さらに事業費総額が増える可能性も否定しませんでした。また、他の契約方法との事業費の比較もしておらず、

これでは判断できません。

【新施設は公民館のようなベツモノ】

市が作成した要求水準書には、「社会教育法によらない」との記載があり、遵守すべき法令にも公民館条例や社会教育法の記載はありません。これでは、「公民館をなくすのでは」と疑念がうまれるのは当然です。

市民や議会からの意見には「これから検討とまともに説明しない一方で、市民より事業者の意見を重視する姿勢が見え隠れしており、誰のための計画なのでしょう。



契約の概要

2026年度予算は…

日本共産党市議団は、東村山市の2026年度予算案に反対しました。

反対の理由は、

- 物価高騰対策が弱い
- 市民生活よりデジタル化優先
- 行き過ぎた公民連携
- 子どもの意見表明権を理解していない
- 大型開発優先で生活に密着した要求には応えず
- 教育費などの市民負担軽減には消極的 など…。

他にも、ジェンダー平等対策やハラスメント防止、気候危機対策についての取り組みも弱く、全庁的な取り組みを求めました。教員不足による多忙化や、国保、後期高齢者医療保険、介護保険など、国に要望すべき事項への積極性も不足しているように感じられます。

市民のいのちとくらしを守ることが地方自治体の最も重要な仕事です。そのためにも、まちに出て市民の声を直接聞き取り組みが必要です。市民に寄り添う市政に変えていきたいです。



長年の市民要求が実現

- 加齢性難聴者への補聴器購入費補助を実施
：対象者は65歳以上の非課税市民で、一回のみ。
 - 子どもの通院時の一回200円の負担金を廃止
 - 手話言語条例制定異向けた具体的な気円筒を開始
 - グラウンド解放している前
- これまで、市民のみなさんと一緒に要望してきた一部が、予算に盛り込まれたり、前進するなど、要求が実現しています。

- 小学校給食調理室の下処理室等へのエアコン設置
日の拡大
川公園と運動公園の開放
- 実現した項目には、まだまだ改善が必要なものもあります。引き続きみなさんと声をあげ、更なる要求実現に向けて取り組んでいきます。みなんで力を合わせて声をあげていけば、政治は変わります。諦めず声をあげていきましょう。



↓SNSはコチラから↓



＼困ったときは共産党に相談を／

生活保護は権利です。
年金が少ない、物価が上がって生活が大変など、暮らしのお困りごとがありましたらいつでもご相談ください。
年金や仕事、持ち家があっても生活保護を利用することはできます。
市役所に相談に行く際の同行も行っています。
お気軽にお電話ください。
渡辺みのるTEL:070-2177-7629

■東村山市議団法律相談

場所：東村山市役所 日本共産党控室
日時：毎月第1水曜日(月により変更有)
※要予約のため、渡辺までご連絡ください。

■しんぶん赤旗をお読み下さい！

日刊紙 月額3,497円
日曜版 月額 990円
お申込み、お問い合わせは
お気軽に渡辺みのるにご連絡ください。

～渡辺みのる子育て日誌～

今、子どもたちを中心にシールが大流行している。我が家の子どもも次女と三女がドまりし、友だちと交換をしたりオリジナルシールを作ったりしている。

ことあるごとに「買い物に連れて行って」と、シールが売っている店の情報を仕入れては要求してくる。

子どもたちのはまっている姿を見ながら、「自分が子どものころはこんなのが流行っていたなあ」と振り返っている。

そんな妹二人を、長女は少し冷めた目で見ている。流行などに興味がなく、そもそも絆創膏も含めてくつつくモノが苦手な長女。妹たちが遊んで片づけないシールを見つめると、「片づける！」と怒鳴っている。

この流行はいつまで続くのやら。